

カテゴリー変更及び理由【植物:維管束】

| 和名          | 旧和名 | 宮城県RL<br>2021 | 宮城県RDB<br>2016 | 変更 | カテゴリー変更の主な理由   |
|-------------|-----|---------------|----------------|----|--|
| ナガオノキシノブ    |     | EX            | —              | 新規 | 生育地は角田市の岩上の1ヶ所のみであったが、絶滅が確認されたため。                        |
| ムカゴサイシン     |     | EX            | —              | 新規 | 川崎町のスギ人工林に生育していたが、林が伐採されて絶滅したため。                         |
| ハナハタザオ      |     | EX            | —              | 新規 | 100年以上前の品井沼の標本が1点あるのみで、その後の情報がない上に沼は干拓されて生育地が完全に失われたため。  |
| マツグミ        |     | EX            | —              | 新規 | 100年以上前の角田市の標本が2点あるのみで、その後の情報がなく数回の調査でも確認できないため。         |
| ナガバツメクサ     |     | EX            | DD             | 変更 | 100年以上前の仙台市荒浜の標本が2点あるのみで、その後の情報がないため。                    |
| マメダオシ       |     | EX            | —              | 新規 | 約70年前の利府町の標本が1点あるのみで、その後の情報がないため。                        |
| ミズトラノオ      |     | EX            | —              | 新規 | 100年以上前の丸森町の標本が2点あるのみで、その後の情報がなく数年間の調査でも確認できないため。        |
| タチシノブ       |     | CR+EN         | —              | 新規 | 本県が分布の北限で、生育地は丘陵地の1ヶ所に局限され、近年ハイキングコースの整備によって生育地が改変されたため。 |
| カラマツ        |     | CR+EN         | —              | 新規 | 国立公園内の高山に北限の群落があるが、生育状況が思わしくないため。                        |
| スゲアマモ       |     | CR+EN         | —              | 新規 | 海底に生える維管束植物で、国立公園内の標本が1点あるのみで、近年の情報がない上に調査が困難なため。        |
| エンシュウムヨウラン  |     | CR+EN         | —              | 新規 | 丘陵帯に生えるラン科の腐生植物で、産地は2020年に初確認された2ヶ所で、個体数も非常に少ないため。北限。    |
| タンザワサカネラン   |     | CR+EN         | —              | 新規 | 丘陵帯に生えるラン科の腐生植物で、産地は近年確認された1ヶ所のみであるため。北限。                |
| サカネラン       |     | CR+EN         | —              | 新規 | 山地帯に生えるラン科の腐生植物で、産地は国立・県立公園内の2ヶ所に局限されているため。              |
| ガッサンチドリ     |     | CR+EN         | —              | 新規 | 高山草原に生える多年草で、産地は国立公園内の1ヶ所に局限されているため。                     |
| ヒメマイヅルソウ    |     | CR+EN         | NT             | 変更 | 山地帯の林床に生える多年草で、産地は1ヶ所だけで、個体数も少ないため。                      |
| ハマイ         |     | CR+EN         | —              | 新規 | 海岸の砂浜に生える多年草で、産地は1995年に本州で初めて確認された南限の1ヶ所だけであるため。         |
| ムラサキセンブリ    |     | CR+EN         | —              | 新規 | 日当たりのよい丘陵地に生える一年草または越年草で、2020年に初めて1ヶ所で生育が確認されたため。        |
| シロスミレ       |     | CR+EN         | EX             | 変更 | 山地の湿地に生育し、近年1ヶ所で生育が確認されたため。                              |
| マツバニンジン     |     | CR+EN         | —              | 新規 | 草地に生える多年草で、1ヶ所だけ産地が確認されているため。                            |
| ウスギモクゲンジ    |     | CR+EN         | —              | 新規 | 海岸の崖地に生える落葉樹モクゲンジの宮城県を基準産地とする品種で、3ヶ所でしか生育が確認されていないため。    |
| ハマゴウ        |     | CR+EN         | EX             | 変更 | 海岸の砂浜に生える落葉低木で、2018年絶滅地以外の場所で1株の生育が確認されたため。              |
| クロブシヒョウタンボク |     | CR+EN         | —              | 新規 | 山地帯に生える落葉低木で、産地は近年発見された1ヶ所に局限されているため。                    |
| オニゼンマイ      |     | VU            | —              | 新規 | 日当たりのよい湿地に生育する夏緑性シダで、産地が少ないため。                           |
| フモトシダ       |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 南方系の常緑性シダで、CR+ENとしては産地が約10ヶ所と比較的多いが、希少性が高いため。            |
| コバノヒノキシダ    |     | VU            | —              | 新規 | 南方系の常緑性シダで、産地が少ないため。                                     |
| ニオイシダ       |     | VU            | —              | 新規 | 高山の岩壁に生える常緑性シダで、産地が少ないため。                                |
| ヒメサジラン      |     | VU            | —              | 新規 | 深山の岩上に生える常緑性シダで、産地が少ないため。                                |
| エゾデンダ       |     | VU            | —              | 新規 | 山地の岩上に生える常緑性シダで、国立・県立公園内に分布するが産地が少なく、希少性が高いため。           |
| マイヅルテンナンショウ |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 低地の草原に生える多年草で、CR+ENとしては産地が7ヶ所と比較的多く個体数も多いが、希少性は高い。       |
| トチカガミ       |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 溜池・湖沼・水路などに生える水草で、CR+ENとしては産地が比較的多いが、減少が著しいため。           |
| オオトリゲモ      |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 溜池・湖沼などに生える水草で、CR+ENとしては産地が多いが、減少が著しいため。                 |

カテゴリー変更及び理由【植物:維管束】

| 和名                     | 旧和名 | 宮城県RL<br>2021 | 宮城県RDB<br>2016 | 変更 | カテゴリー変更の主な理由   |
|------------------------|-----|---------------|----------------|----|--|
| ミズオオバコ                 |     | VU            | NT             | 変更 | 溜池・湖沼・水路・水田などに生える水草で、NTとしては産地が多いが、減少率の高い所が多いため。                                      |
| コウガイモ                  |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 湖沼・河川・水路などに生える水草で、CR+ENとしては産地が多いが、東日本大震災の復旧工事などによって減少が著しいため。                         |
| リュウノヒゲモ                |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 海岸沿いの塩性湿地に生える水草で、CR+ENとしては産地が多いが、生育環境の悪化が著しいため。                                      |
| マルバサンキライ               |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 山地に生えるつる性の小低木で、CR+ENとしては産地が約10ヶ所と比較的多いため。  |
| ミヤマスカシユリ               |     | VU            | —              | 新規 | 山地の岩上に生える多年草で、近年研究者により岩手県、宮城県の山地のヤマスカシユリとされていたものがミヤマスカシユリと同一と直された。分布が限られており、個体数も少ない。 |
| コアツモリソウ                |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 丘陵の林床に生えるラン科の多年草で、CR+ENとしては産地が比較的多いが、減少率が高くなっているため。                                  |
| エゾスズラン                 |     | VU            | NT             | 変更 | 山地に生えるラン科の多年草で、NTとしては産地が比較的少なく、減少率の高い産地が多いため。  |
| ハマカキラン                 |     | VU            | NT             | 変更 | 沿岸部のクロマツ林床に生えるラン科の多年草で、NTとしては産地が比較的少なく、減少率の高い産地が多いため。                                |
| ツレサギソウ                 |     | VU            | NT             | 変更 | 山地に生えるラン科の多年草で、NTとしては産地が比較的少ないが、減少率が高いため。  |
| タカネサギソウ                |     | VU            | —              | 新規 | 高山の湿原に稀に生えるラン科の多年草で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。                                       |
| ホソバタマミクリ               |     | VU            | —              | 新規 | 高山の池沼に稀に生える多年生の水草で、産地が国定公園内に限定され、しかも非常に少ないため。  |
| アズマホシクサ<br>(ミヤマヒナホシクサ) |     | VU            | NT             | 変更 | 高山の湿地に生える一年草で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。   |
| タテヤマスゲ                 |     | VU            | —              | 新規 | 亜高山の湿地に生える多年草で、産地が県立公園内に限定されており、希少性が高いため。  |
| ジョウロウスゲ                |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 平地の湿地に生える多年草で、CR+ENとしては産地が10ヶ所を越えて比較的多いため。   |
| イトキンスゲ                 |     | VU            | —              | 新規 | 高山の湿った斜面に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。  |
| コシンジュガヤ                |     | VU            | —              | 新規 | 低地の湿地に生える一年草で、産地が約10ヶ所とやや少なく、希少性が高いため。   |
| ヒナガリヤス                 |     | VU            | 要注目種           | 変更 | 亜高山帯の草原に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。   |
| フサガヤ                   |     | VU            | —              | 新規 | 亜高山帯の林床に生える多年草で、産地が風穴に限定されているため。   |
| ミズタカモジ                 |     | VU            | —              | 新規 | 水田の周りに稀に生える多年草で、産地は近年確認された北限地のみで、しかも個体数の減少が著しいため。                                    |
| ミヤマドジョウツナギ             |     | VU            | —              | 新規 | 亜高山の林床に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。  |
| タチイチゴツナギ               |     | VU            | —              | 新規 | 深山の陰地に生える多年草で、産地がごく少ないため。  |
| ハマヒエガエリ                |     | VU            | —              | 新規 | 海岸の湿地に生える一年草で、産地が少なくしかも生育環境が失われているため。  |
| イヌアワ                   |     | VU            | —              | 新規 | 丘陵地の藪などに生える多年草で、産地が限定されているため。  |
| ワガトリカブト                |     | VU            | —              | 新規 | 高山の風衝草原に生えるウゼントリカブトの変種で、産地が国定・県立公園内に限定されており、希少性が高いため。                                |
| ヤマシャクヤク                |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 山地の林床に生える多年草で、園芸採取などで減少が著しいが、CR+ENとしては産地が比較的多いため。                                    |
| レンリソウ                  |     | VU            | —              | 新規 | 河川敷の湿った草地などに生える多年草で、個体数の減少が著しいため。  |
| ヒメゴヨウイチゴ               |     | VU            | —              | 新規 | 深山の林内に生える小低木で、産地が県立公園内に限定されており、希少性が高いため。   |
| シライヤナギ                 |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 岩場に生える小低木で、産地は数ヶ所あるが、CR+ENとしては広く分布し個体数もやや多いため。                                       |
| キバナノコマノツメ              |     | VU            | —              | 新規 | 高山の草原に生える黄花のスマレ科の多年草で、産地が県立公園内に限られており、希少性が高いため。                                      |
| アゼオトギリ                 |     | VU            | —              | 新規 | 田の畔などの湿地に生える多年草で、産地が少なく、希少性が高いため。  |
| ホソバアカバナ                |     | VU            | —              | 新規 | 山地の湿原に生える多年草で、産地が県立公園内に限定されており、希少性が高いため。   |

カテゴリー変更及び理由【植物:維管束】

| 和名          | 旧和名 | 宮城県RL<br>2021 | 宮城県RDB<br>2016 | 変更 | カテゴリー変更の主な理由   |
|-------------|-----|---------------|----------------|----|--|
| ナンブコハモミジ    |     | VU            | —              | 新規 | 三陸地方に生えるオオモミジの変種で、産地が国立公園内に限られており、希少性が高いため。                        |
| ハクセンナズナ     |     | VU            | —              | 新規 | 山地の湿った斜面に生える多年草で、産地が県立公園内に限定されており、希少性が高いため。                        |
| ハタザオ        |     | VU            | —              | 新規 | 丘陵地・平地に生える多年草で、産地は約10ヶ所あるが、個体数が少ないため。                              |
| ホザキヤドリギ     |     | VU            | NT             | 変更 | 落葉広葉樹の枝に寄生する低木で、NTとしては産地が少ないため。                                    |
| イワアカザ       |     | VU            | 要注目種           | 変更 | 山地に生える一年草で、産地が少なく、希少性が高いため。  |
| クサアジサイ      |     | VU            | CR+EN          | 変更 | やや湿った林床、岩場に生え、本県を北限とする多年草で、CR+ENとしては産地が少し多いため。                     |
| ヒメハナヒリノキ    |     | VU            | —              | 新規 | 高山の岩場に生えるツツジ科の低木ハナヒリノキの変種で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。              |
| クロマメノキ      |     | VU            | —              | 新規 | 高山の岩場や湿地に生えるツツジ科の低木で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。                    |
| コケリンドウ      |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 日当たりのよい草地に生える越年草で、CR+ENとしては産地が少し多いため。                              |
| ヒヨクソウ       |     | VU            | NT             | 変更 | 日当たりのよい草地に生える多年草で、NTとしては産地が少ないため。                                  |
| テイネニガクサ     |     | VU            | NT             | 変更 | 山地に生える多年草で、NTとしては産地が少ないため。   |
| ナンバンギセル     |     | VU            | —              | 新規 | 普通、ススキの根に寄生する葉緑体を持たない寄生植物で、産地がやや少ないため。                             |
| シコクママコナ     |     | VU            | —              | 新規 | 山地の林縁などに生える一年草で、産地が限定されているため。                                      |
| ヨツバシオガマ     |     | VU            | —              | 新規 | 高山の草地に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。                           |
| オオタヌキモ      |     | VU            | NT             | 変更 | 湖沼・溜池などに生える食虫植物で、減少率の著しい所もありNTとしては産地が少ないため。                        |
| ハグロソウ       |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 林縁などに生える多年草で、CR+ENとしては産地が少し多いため。                                   |
| ミウギシャジン     |     | VU            | —              | 新規 | 高山の砂礫地に生えるミヤマシャジンの変種で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。                   |
| チシマギキョウ     |     | VU            | —              | 新規 | 高山の砂礫地や岩礫地に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されており、希少性が高いため。                      |
| シロヨモギ       |     | VU            | CR+EN          | 変更 | 海岸の砂地に生える多年草で、産地が仙南の海岸に限定され、CR+ENとしては産地が多いため。東日本大震災後、生育地が少し拡大している。 |
| コオニタビラコ     |     | VU            | —              | 新規 | 田畑に生える越年草でかつては普通種であったが、生育地・数共に減少しているため。                            |
| ニッコウヒョウタンボク |     | VU            | 要注目種           | 変更 | 山地に生える落葉低木で、産地が少ないため。  |
| マツムシソウ      |     | VU            | —              | 新規 | 山地の草地に生える多年草で、産地は十数ヶ所あるが草原が減少し、かつ個体数の減少も著しいため。                     |
| ヌマゼリ        |     | VU            | NT             | 変更 | 湿地に生える多年草で、NTとしては減少率の高い産地が多いため。                                    |
| ホソバコケシノブ    |     | NT            | —              | 新規 | 山地の湿った岩上、樹幹に生える常緑のシダで、産地が局所的であるため。                                 |
| リョウトウイタチシダ  |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の林内に生える常緑のシダで、産地が少ないため。   |
| ウマノスズクサ     |     | NT            | —              | 新規 | 河川敷の草地などに生える多年生のつる植物で、産地は20ヶ所近くあるが近年、減少しているため。                     |
| ウリカワ        |     | NT            | —              | 新規 | 溜池や水田に生える水草で、産地は21ヶ所あるが、減少しているため。                                  |
| コアマモ        |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 浅海域で育つ維管束植物で、産地が限定されているため。   |
| イトモ         |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 湖沼・溜池・水路などに生育する水草で、産地は数十ヶ所あるが、減少傾向にある産地が多いため。                      |
| エゾミヤマエンレイソウ |     | NT            | —              | 新規 | 北上山地の林内に見られる多年草で、産地が限定されているため。                                     |
| サワラン        |     | NT            | —              | 新規 | 亜高山から高山の湿地に生育する多年草で、産地が国定公園内に限定されているため。                            |

カテゴリー変更及び理由【植物:維管束】

| 和名        | 旧和名 | 宮城県RL<br>2021 | 宮城県RDB<br>2016 | 変更 | カテゴリー変更の主な理由   |
|-----------|-----|---------------|----------------|----|--|
| ミヤマトキソウ   |     | NT            | —              | 新規 | 高山の湿地に生育するラン科の多年草で、2017年トキソウに近縁の新種として記載され、産地が国定・県立公園内に限定されているため。 |
| ヒトツボクロ    |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の林内に生えるラン科の多年草で、産地が減少しているため。                                  |
| ミズアオイ     |     | NT            | —              | 新規 | 水田や用水路で目立つ青紫の花をつける一年草で、産地は約30ヶ所あるが、環境省でNTに指定されていることを参考にした。       |
| ホシクサ      |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 湿地や水田に生える一年草で、産地が少ないため。  |
| エゾホシクサ    |     | NT            | —              | 新規 | 山地の湿地に生える一年草で、産地が限定されているため。                                      |
| ツルカミカワスゲ  |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵の草地・湿地に生える多年草で、産地が限定されているため。                                   |
| ニイガタガヤツリ  |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 湖沼・河川敷などに生える一年草で、産地が限定されているため。                                   |
| オオシロガヤツリ  |     | NT            | —              | 新規 | 水際の湿った平地に生える一年草アオガヤツリの変種で、産地が限定されているため。                          |
| タカネクロスゲ   |     | NT            | —              | 新規 | 山地の湿った草地に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されているため。                             |
| ヒメコヌカグサ   |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の湿地に生える多年草で、産地は約20ヶ所あるが、環境省でNTに指定されていることを参考にした。               |
| ヒゲシバ      |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の湿地に生える一年草で、産地は約10ヶ所あるが、減少傾向にあるため。                            |
| ナガミノツルケマン |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の半日陰地に生える多年草で、産地は約50ヶ所と多いが、環境省でNTに指定されていることを参考にした。            |
| コマクサ      |     | NT            | —              | 新規 | 高山の砂礫地に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されているため。                               |
| ヤマブキソウ    |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地に生える黄色の花が目立つ多年草で、産地は約40ヶ所あるが、減少しているため。                        |
| センウズモドキ   |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 山地の林床や林縁に生える多年草で、産地は多いが、減少傾向にあるため。また環境省でVUIに指定されていることを考慮した。      |
| レンゲショウマ   |     | NT            | —              | 新規 | 山地に生える淡紫色の花が目立つ多年草で、産地は約40ヶ所あるが、減少しているため。                        |
| トウゴクサバノオ  |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の林内に生える多年草で、産地は約20ヶ所あるが、減少しているため。                             |
| シラネアオイ    |     | NT            | —              | 新規 | 山地に生える紫花が目立つ多年草で、産地は約50ヶ所と多いが、減少しているため。                          |
| バイカモ      |     | NT            | —              | 新規 | 清流に生える多年生の水草で、産地は十数ヶ所あるが、減少しているため。                               |
| イワカラマツ    |     | NT            | —              | 新規 | 日当たりのよい岸壁に生える多年草で、産地が主に県立公園内に限定されているため。                          |
| タコノアシ     |     | NT            | —              | 新規 | 平野部の湿地に生える多年草で、産地は50ヶ所を越えるが、環境省でNTに指定されていることを参考にした。              |
| イワオウギ     |     | NT            | —              | 新規 | 高山の砂礫地に見られる多年草で、産地が国定・県立公園内に限定されているため。                           |
| ケヤブハギ     |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 道端、草地に生える多年草で、産地が少ないため。  |
| マルバヌスビトハギ |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 道端、草地に生える多年草で、産地が少ないため。  |
| エゾレンリソウ   |     | NT            | —              | 新規 | 海岸の後背地の草地などに生える多年草で、産地は30ヶ所を越えるが、減少しているため。                       |
| シモツケソウ    |     | NT            | —              | 新規 | 山地の草地に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されているため。                                |
| ノウゴウイチゴ   |     | NT            | —              | 新規 | 亜高山の湿った草地に生える多年草で、産地が県立公園内に限定されているため。                            |
| タカネバラ     |     | NT            | —              | 新規 | 高山の日当たりのよい場所に生える低木で、産地が国定・県立公園内に限定されているため。                       |
| サナギイチゴ    |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 山地に生える小低木で、産地が約10ヶ所と少ないため。また環境省でVUIに指定されていることを考慮した。              |
| ネコシデ      |     | NT            | —              | 新規 | 亜高山に生える落葉高木で、産地が国定公園内に限定されているため。                                 |
| イワウメヅル    |     | NT            | DD             | 変更 | 丘陵に生える木本のつる植物で、産地が北上山地など県北に限定されているため。                            |

カテゴリー変更及び理由【植物:維管束】

| 和名         | 旧和名 | 宮城県RL<br>2021 | 宮城県RDB<br>2016 | 変更 | カテゴリー変更の主な理由  |
|------------|-----|---------------|----------------|----|---|
| ノウルシ       |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 平野の湿地に生育する多年草で、産地は50ヶ所と多いが、減少率の高い所が多く、また環境省でNTに指定されていることを参考にした。       |
| コフウロ       |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の林床に生える多年草で、産地が少ないため。  |
| カラスノゴマ     |     | NT            | —              | 新規 | 畑や道端に生える一年草で、産地は約10ヶ所あるが、減少しているため。                                    |
| ハマハタザオ     |     | NT            | —              | 新規 | 海岸の砂地に生える越年草で、産地は30ヶ所を越えるが、減少しているため。                                  |
| エゾハタザオ     |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 山野に生える越年草で、産地が約10ヶ所と少ないため。  |
| オオユリワサビ    |     | NT            | —              | 新規 | 山地の沢沿いに生えるワサビ属の多年草で、産地が少ないため。   |
| オヤマソバ      |     | NT            | —              | 新規 | 高山の砂礫地に生える多年草で、産地が国立公園内に限定されているため                                     |
| アブクマトラノオ   |     | NT            | VU             | 変更 | 県南の丘陵地に生える宮城県を基準産地とする多年草で、VUとしては産地が約30ヶ所と多いため。                        |
| エゾイブキトラノオ  |     | NT            | —              | 新規 | 高山の日当たりのよい草地に生える多年草で、産地が国立公園内に限定されているため。                              |
| ムカゴトラノオ    |     | NT            | —              | 新規 | 高山の草地や岩礫地に生える多年草で、産地が国立・県立公園内に限定されているため。                              |
| ヤナギヌカボ     |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 湿地に生える一年草で、産地は多いが減少傾向にあるため。また環境省でVUに指定されていることを考慮した。                   |
| ヌカボタデ      |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 湿地に生える一年草で、産地は約30ヶ所と多いが減少傾向にあるため。また環境省でVUに指定されていることを考慮した。             |
| ノダイオウ      |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 畑地等に生える多年草で、産地は約50ヶ所と多いが減少傾向にあるため。また環境省でVUに指定されていることを考慮した。            |
| タチハコベ      |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 山地に生える一年草または越年草で、産地は十数ヶ所あるが減少しているため。                                  |
| ハマアカザ      |     | NT            | —              | 新規 | 海岸の砂地に生える一年草で、産地は約20ヶ所あるが減少しているため。                                    |
| ユキワリコザクラ   |     | NT            | —              | 新規 | 高山の湿った岩場に生える小さな多年草で、産地が国立・県立公園内に限定されているため。                            |
| ヒメシャクナゲ    |     | NT            | —              | 新規 | 高山の湿地に生える常緑の小低木で、産地が国立公園内に限定されているため。                                  |
| ウスユキハナヒリノキ |     | NT            | —              | 新規 | 山地の林縁などに生える落葉小低木ハナヒリノキの変種で、産地が国立公園内に限定されているため。                        |
| イソツツジ      |     | NT            | —              | 新規 | 高山の湿原などに生える常緑小低木で、産地が国立公園内に限定されているため。                                 |
| ツガザクラ      |     | NT            | —              | 新規 | 高山の岩場に生える常緑小低木で、産地が国立公園内に限定されているため。                                   |
| コバノイチヤクソウ  |     | NT            | —              | 新規 | 高山の林床に生える多年草で、産地が国立・県立公園内に限定されているため。                                  |
| マルバウスゴ     |     | NT            | —              | 新規 | 高山の雪田わきなどに生える落葉小低木で、産地が国立公園内に限定されているため。                               |
| ハナイカリ      |     | NT            | —              | 新規 | 高山の日当たりのよい草地に生える二年草で、産地が国立・県立公園内に限定されているため。                           |
| イヌセンブリ     |     | NT            | VU             | 変更 | 湿地に生える一年草または越年草で、産地は約40ヶ所と多いが、減少傾向にあるため。                              |
| テングノコヅチ    |     | NT            | —              | 新規 | 山地に生えるつる性の多年草ツルリンドウの変種で、国立・県立公園内に生えるが、産地が少ないため。                       |
| ハダカホオズキ    |     | NT            | —              | 新規 | 山地の林縁に生える多年草で、産地が少ないため。   |
| オオアブノメ     |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 湿地に生える一年草で、産地は約30ヶ所と多いが、減少傾向にあるため。                                    |
| クワガタソウ     |     | NT            | VU             | 変更 | 山地に生える多年草で、VUとしては産地が約30ヶ所と多いため。                                       |
| ハマヒナノウスツボ  |     | NT            | —              | 新規 | 岩手県・宮城県の海岸の岩礫地に生える多年草で、産地は数十ヶ所と多いが三陸沿岸の固有種であり、東北地方太平洋沖地震津波後大幅に減少したため。 |
| シラゲヒメジソ    |     | NT            | 要注目種           | 変更 | 丘陵地の林縁に生える一年草で、産地が少ないため。  |

カテゴリー変更及び理由【植物:維管束】

| 和名        | 旧和名 | 宮城県RL<br>2021 | 宮城県RDB<br>2016 | 変更 | カテゴリー変更の主な理由   |
|-----------|-----|---------------|----------------|----|--|
| アキノタムラソウ  |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の道端に生える多年草で、産地が局所的であるため。                                      |
| トモエシオガマ   |     | NT            | —              | 新規 | 高山の草地に生える多年草シオガマグクの変種で、産地が国定・県立公園内に限定されているため。                    |
| ムシトリスミレ   |     | NT            | —              | 新規 | 高山の岩場や草地に生える多年生の食虫植物で、産地が国定公園内に限定されているため。                        |
| イヌタヌキモ    |     | NT            | VU             | 変更 | 溜池などに生える食虫植物で、VUとしては産地が多いが、減少傾向にあるため。                            |
| キキョウ      |     | NT            | VU             | 変更 | 草地に生える多年草で、VUとしては産地が約80ヶ所と多いが、減少傾向にあるため、また環境省でVUに指定されていることを考慮した。 |
| キクタニギク    |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地のやや乾いた崖地に生える多年草で、産地は約60ヶ所と多いが、環境省でNTに指定されていることを参考にした。         |
| イワインチン    |     | NT            | —              | 新規 | 高山の日当たりのよい岩場に生える多年草で、産地が国定・県立公園内に限定されているため。                      |
| ナンブタカネアザミ |     | NT            | —              | 新規 | 高山の日当たりのよい草地に生える多年草で、産地が栗駒国定公園内に限定されているため。                       |
| キタカミアザミ   |     | NT            | —              | 新規 | 山地の林縁などに生える多年草で、産地が限定されているため。                                    |
| マルモリアザミ   |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵の林縁や草地に生え、本県を基準産地とする多年草で、産地が県南に限定されているため。                      |
| フジバカマ     |     | NT            | —              | 新規 | 川岸の土手などに生える多年草で、産地が少なく、環境省でNTに指定されていることを参考にした。                   |
| タカネニガナ    |     | NT            | —              | 新規 | 高山の岩礫地や岩場に生える多年草で、産地が国定公園内に限定されているため。                            |
| シュウブンソウ   |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の林床に生える多年草で、産地が仙台市の特定地域に限定されているため。                            |
| フボウトウヒレン  |     | NT            | —              | 新規 | 産地は十数ヶ所あるが、本県が基準産地であり、分布は蔵王連峰と船形連峰の高所に限定されているため。                 |
| アブクマトウヒレン |     | NT            | —              | 新規 | 丘陵地の草地や林縁に生える多年草で、本県を基準産地とし、産地は丸森町や大衡村の一部でしか確認されていないため。          |
| タチドジョウツナギ |     | 要注目種          | —              | 新規 | 岩手県・宮城県の海岸の塩性湿地に分布が限定されている多年草で、産地は多いが、本県を基準産地とし、減少が進んでいるため。      |
| シャリンバイ    |     | 要注目種          | —              | 新規 | 海岸に生える宮城県が北限の常緑低木で、産地は20ヶ所近くあるが、生育地が限定されているため。                   |
| クグガヤツリ    |     | —             | CR+EN          | 削除 | 国内帰化と判断したため。   |
| ヒメイタチンダ   |     | —             | VU             | 削除 | 本種の分類学的な扱いが変更されたため。  |
| キノクニベニシダ  |     | —             | VU             | 削除 | 本種の分類学的な扱いが変更されたため。  |
| コナミキ      |     | —             | NT             | 削除 | 種の同定が誤っていたため。  |
| ネムロコウホネ   |     | —             | DD             | 削除 | 文献情報(1935)のみで標本が確認されたいないため。                                      |
| モイワシャジン   |     | —             | 要注目種           | 削除 | 種の同定が誤っていたため。  |
| ミヤマイ      |     | —             | 要注目種           | 削除 | 文献情報(2008)のみで標本が確認されたいないため。                                      |
| コシノカンアオイ  |     | —             | CR+EN          | 削除 | 植栽であることが明らかになったため。   |
| タイリンヤマハッカ |     | —             | NT             | 削除 | 産地数、個体数共に多いため。   |
| オニナルコスゲ   |     | —             | NT             | 削除 | 産地数、個体数共に多いため。   |
| タツナミソウ    |     | —             | 要注目種           | 削除 | 本種の分類学的な扱いが変更されたため。  |
| ヒメガヤツリ    |     | —             | 要注目種           | 削除 | 種の同定が誤っていたため。  |
| ハルリンドウ    |     | —             | EX             | 削除 | 文献情報(2008)のみで標本が確認されたいないため。                                      |
| ヒメイトラノオ   |     | —             | CR+EN          | 削除 | 種の同定が誤っていたため。  |

カテゴリー変更及び理由【植物:維管束】

| 和名      | 旧和名 | 宮城県RL<br>2021 | 宮城県RDB<br>2016 | 変更 | カテゴリー変更の主な理由                |
|---------|-----|---------------|----------------|----|-----------------------------|
| アカウキクサ  |     | —             | CR+EN          | 削除 | 本種の分類学的な扱いが変更されたため。         |
| ヤマリトラノオ |     | —             | VU             | 削除 | 文献情報(1935)のみで標本が確認されたいないため。 |